



取扱説明書

WHSR-532

Smart Reco *WHSR-532*

New Standard of Smart Car Life

もしも、事故に巻き込まれたら

まず落ち着いて、警察を呼び、
相手の情報を確認します。
けが人がいたら救急も呼びます。



周りを見て、目撃者がいるか確認。
携帯のカメラなどで事故直後の
現場を撮影。



映像を再生できる機種であれば、
到着した警察と一緒に事故時の
映像を確認しましょう。



映像確認後、スマートレコの電源
をオフにして、事故映像が上書き
で消えないよう、SDカードを本
体から取り外します。
※パソコンに映像データを
コピーしたら、本体に戻します。



保険会社への連絡や、病院に診察へ行くのもお忘れなく。

目次

01. SmartReco WHSR-532 製品使用前の注意事項	4
02. 禁止事項	5
03. 製品使用時の注意事項	7
04. 製品の特長	9
05. 構成品	11
06. 製品取付 - 取り付け時の注意事項	12
07. 取付け手順	15
08. 修理等で本体を取り外す場合	18
09. 本体電源をOFFにする方法	19
10. microSDカード挿入/取り外し方法	20
11. 各部分の名称及び機能	21
12. 製品機能の説明	23
13. 液晶タッチパネル	26
14. ファームウェアのアップデート	38
15. 専用ビューアーをインストールする	40
16. 専用ビューアーのメイン画面の説明	41
17. ボタンの説明	42
18. 全画面表示	45
19. デジタルズーム	46
20. 運行記録	47
21. ファイルを開く	49
22. 本体の環境設定	50
23. microSDカードの保存データ	53
24. 映像保存方式	54
25. 製品仕様	58
26. よくあるご質問	59
27. 保証書	62

本製品はタッチパネル搭載のドライブレコーダーであり、車両の事故や衝撃を感知した際の前方映像/後方映像/室内音声を保存し、事故原因の分析を補助するデータを記録する製品です。

- ・ SmartReco®は、株式会社ホワイトハウスの登録商標です。
- ・ 本説明書の全ての内容は、著作権により保護されます。
- ・ 本説明書に記載されている製品名その他のブランド名は、該当する各社の標章、商標または登録商標です。
- ・ 不適切な使用及び装着、改造による故障や事故に対しては弊社は責任を負いません。
- ・ 安全運行のために運転中の画面操作はおやめください。
- ・ 本説明書に使用されるイメージ画像は、実際の製品とは異なる場合があります。
- ・ 使用前に本説明書を読んで、製品を正しく安全にご使用ください。

■ 本製品は、車両安全運転補助製品です。事故発生時、全ての責任は消費者にありますので、製品の目的に合う使用をお願いします。

■ 本説明書は、製品機能向上のため、予告無しに変更する場合があります。



警告

この表示の欄は、『死亡または重傷などを負う恐れがある』内容です。



注意

この表示の欄は、『損傷または物的損害が発生する恐れがある』内容です。



警告

- ・運転中に操作をしないでください。
事故やけがの原因となります。操作やmicroSDカードの抜き挿しは、必ず安全な場所に車両を停車させて行ってください。
- ・分解、修理及び改造をしないでください。
修理やサービスは必ずお取付されたディーラー / 販売店へご依頼ください。
- ・水に濡れた場合、本製品を絶対に熱器具（電子レンジ、ドライヤー等）で乾燥させないでください。爆発や変形、故障の原因となります。
- ・濡れた手で触らないでください。火災、感電、故障の原因となります。
- ・コードを挟んだり切ったりしないでください。通信異常の原因になるだけでなく、断線やショートにより火災、感電、故障の原因となります。
- ・機器内部に異物を入れないでください。
故障や火災、感電等の原因となります。特に、乳幼児にご注意ください。
- ・運転の視界の妨げになる場所に絶対に取り付けしないでください。
事故やけがの原因となります。
- ・エアバッグの妨げになる場所に絶対に取り付けしないでください。
エアバッグが正常に作動しなかったり、作動したエアバッグで本製品が飛ばされ、事故やけがの原因となります。
- ・本製品を故障や異常のまま使用しないでください。
万一、故障や異常が発生した場合は、ただちに使用を中止し、お取付されたディーラーまたは販売店にご相談ください。そのまま使用を続けると、事故や火災、感電の原因となります。
- ・microSDカードは乳幼児の手の届かないところに保管してください。
- ・本製品は外れたり、落下しないようにしっかり取り付けてください。
固定が弱いと、走行中に外れる、落下する等、事故やけがの原因となります。また、振動により性能が低下する可能性があります。
- ・本製品は洗浄しないでください。
化学物質（ベンジン・シンナー・アルコール類など）は使用しないでください。爆発や火災が発生する可能性があります。お手入れする場合は、電源コードを本体から抜き、電源OFF状態になったことを確認後、水を少し含ませた柔らかい布で軽く拭いた後、乾拭きします。



注意

- ・エンジンを止めた状態（駐車監視モード）で、本製品を長時間（約24時間以上）使用しないでください。
車両を長時間使用しない場合は、駐車監視スイッチをOFFにしてください。また、電源自動遮断機能が働いてもエンジン始動が困難になる可能性があります。また、電源自動遮断機能作動後は、画像が記録されません。
- ・本製品を落下させたり、強い衝撃を与えないでください。
- ・炎天下や高温または極寒になる場所に長時間放置しないでください。
本体の温度が動作温度（-20～70℃）外になりますと、本体の機能が正常に作動しなくなります。また、サンシェードとフロントガラスの間に本体があると、本体が高温になり、正常に作動しなくなる場合があります。一部の車種にサンバイザーやサンシェードとフロント・カメラ、後方カメラが干渉する車種があります。その場合、サンバイザーやサンシェード等の使用を控えるか、撮影に影響のない範囲で使用してください。
- ・ケーブル・コード類は運転や乗り降りの妨げにならないように配線してください。
- ・本製品はオフロード等の舗装されていない道路を走行する車両や競技車両には使用できません。
- ・本製品で記録した映像は個人の使用目的以外では、著作権法・個人情報保護法上などの規則のため、無断で使用することはできません。また、使用方法によっては被写体のプライバシーなどの権利を侵害する場合があります。
- ・本製品は事故を防止する装置ではありません。また、状況によっては画像ファイルが記録されない場合があります。
- ・本製品を取り付けたガラスは常にきれいにしてください。汚れている場合は、正常な走行映像を記録する事ができませんので、ご注意ください。
- ・車両のガラス面に光が反射して、映像の品質が著しく低下する可能性があります。
- ・着色ガラスやカーフィルムの濃度により、特に夜間など、画質が低下する可能性があります。製品取付後に撮影テストを行い、映像品質を必ずお確かめのうえご使用ください。
- ・LED式信号機は目に見えない速度で点滅しています。その為、当製品では点滅しているように見えることがあります。信号で判断できない場合は、前後の映像や周辺の車両状況から判断してください。
- ・本体の自己診断機能により、電源をONにしてから起動するまでに約10秒の時間を要します。本体が起動するまでは映像が記録されませんので、本体が起動したことを確認してから、車を運転してください。

【保証と責任の範囲】

- ・本製品は安全運転のための補助装置です。本製品の故障による損害、データの損失による損害、その他本製品を使用することにより発生した損害に対して弊社では一切の責任を負いません。
- ・重要な画像を録画した場合、ファイル消失を防ぐために、microSDカードを本体から取り外し大切に保管してください。
- ・本製品は車の運行状況を録画/保存することを目的とした装置ですが、予期せぬ事由により、録画されない場合や、録画されたファイルが再生できない場合があります。
- ・本製品を分解、修理及び改造等をした場合の故障及び事故に対して弊社では一切の責任を負いません。
- ・不適切な使用方法、取り付けによる故障及び事故に対して弊社では一切の責任を負いません。
- ・本製品並びに取扱説明書は品質向上のため、予告なしに変更または修正される場合があります。
- ・経年変化や、使用状況によってバックアップ機能が作動しない場合があります。
- ・本製品に対する全てのソフトウェアおよびハードウェアの著作権は弊社に帰属します。本製品に関する著作権及び知的財産権を無断で使用、複製、加工、配布することは絶対におやめください。
- ・本製品は安全運転のための補助装置です。事故の検証に役立つことも目的の一つですが完全な証拠としての効力を保証するものではありません。
- ・衝撃が発生した時の映像が記録されなかった場合や記録されたデータが破損していた場合の損害本製品の故障や本製品の使用によって生じた損害について、弊社では一切の責任を負いません。
- ・本書に記載されている事項に従わずに使用し、事故や故障が発生した場合、弊社では一切の責任を負いません。
- ・本製品をいたずら、及び他人の迷惑になる行為に使用しないでください。また、本来の使用目的以外の用途では絶対に使用しないでください。弊社では一切の責任を負いません。
- ・コンピューター本体の性能により一部ビューアーが正常に再生されない場合があります。映像再生がスムーズに行える性能が必要です。
※ 詳しくはP40を参照ください。
- ・地図の表示にはインターネットに接続できる環境が必要です。
- ・本製品をご使用前に、必ず取扱説明書の記載事項をご確認いただき安全にご使用ください。また、本書はいつでも見られるところに必ず保管してください。
- ・専用ビューアーのインストールはインターネットに接続した環境で行ってください。インターネットに接続されていない環境でインストールすると正常にインストールされない場合があります。（※詳しくはP40を参照ください）

【 microSDカード使用時の注意事項 】



注意

● microSDカードの抜き挿しは、必ず本体の電源が切れていることを確認してから行ってください。電源が入っている時にmicroSDカードの抜き挿しを行うと、microSDカードが破損するだけでなく、本製品が故障する恐れがあります。

- microSDカードへのデータ書き込み中（LEDランプ点灯中）は、絶対にmicroSDカードを抜かないでください。microSDカードが破損するだけでなく、本製品が故障する恐れがあります。microSDカードを抜く場合は、本体の駐車監視スイッチをOFFにしてエンジンを切り、必ず本体の全てのLEDランプが消灯したことを確認してから行ってください。
- ファイル保存中に電源が切断された場合、バックアップ機能を利用して最後のファイルを保存している間、LEDがしばらく点灯します。LED点灯中はmicroSDカードを本体から抜かないでください。
- 本体を使用する前に、microSDカードに画像が保存されることを確認してから運用を開始してください。また、定期的にmicroSDカードを点検してください。
- microSDカードには本製品で記録されるデータ以外は保存しないでください。
- 本製品が正常に作動しているか確認するために、1週間に一度は記録データの内容を確認してください。
- 保存ファイルは定期的にバックアップをしてください。保存容量を超過した場合、一番古いファイルから上書きされるため、定期的にバックアップし、必要なファイルが削除されないようご注意ください。
- **必ず弊社の指定する純正microSDカードをご使用ください。弊社指定microSDカード以外を使用されますと正常に録画されない場合があります。**

microSDカードは消耗品です。microSDカードには一般的に寿命があるため、長期間使用すると新しいデータが録画されません。このような場合には新しい純正microSDカードをご使用ください。

いかなる場合もデータの消滅に対して、弊社では一切の責任を負いませんのであらかじめご了承ください。

microSDカードへ書き込み中に、カードを抜くと、最後のデータが記録されませんのでご注意ください。これらの事象に対して弊社では一切の責任を負いません。事故映像等の重要なデータは、上書き防止のためmicroSDカードを即座に本体から抜いて別の場所で保管してください。複数の純正microSDカードをお持ちいただくことをお勧めします。

純正microSDカードのご購入は下記ホームページまたはインフォメーションセンターまで
URL : <https://www.smartreco.jp/> TEL : 0561-67-5511

| 駐車監視録画モード 標準搭載

駐車中はモーションセンサー及び衝撃により、当て逃げ等必要な映像だけ鮮明に記録できるように駐車録画を行います。

※ 詳しくはP55を参照ください。

| 前後2CH録画機能 標準搭載

ドライブレコーダー本体から前方映像を録画し、室内に装着する後方カメラを通して後方映像を録画する2CHドライブレコーダーです。

※ 詳しくはP30～32を参照ください。

| 3.5インチ静電容量式タッチパネル搭載

録画中の映像を3.5インチタッチパネルですぐ確認できます。

また、保存された映像をタッチパネルで探して再生できます。

※ 詳しくはP26～37を参照ください。

| 音声案内搭載

音声案内を通してドライブレコーダーの動作状態を確認できます。

当て逃げがあった場合でもエンジン始動時に音声案内が流れます。

※ 詳しくはP23～25を参照ください。

| 鮮明な画質、最適な視野角で前方HD / 後方HDの高画質映像記録

走行映像、駐車監視映像を鮮明に記録できるよう最適な解像度及び視野角で録画します。

※ 詳しくはP58を参照ください。

| ナイトビジョン搭載

夜間でも明るい映像で記録できます。(前方映像のみ)

※ 詳しくはP36を参照ください。

| WDR搭載

逆光の影響を低減します。(前方映像のみ)

| フォーマットフリー機能搭載

フォーマットフリー機能が搭載されており、microSDカードの定期的なフォーマットは不要になりました。

(ただし、microSDカードが原因で保存ができない場合は、新しいmicroSDカードへ交換が必要です。)

| タッチパネルで簡単操作

ドライブレコーダー本体のタッチパネルから設定を変更できます。
※ 詳しくはP34～37を参照ください。

| 常時録画機能

走行中、1分単位の映像ファイルで録画保存を行います。
※ 詳しくはP54を参照ください。

| イベント(衝撃)強制録画

走行中の衝撃を検知するか本体スイッチを短く押すと、押す前の5秒、後の15秒(合計20秒)の映像をイベントフォルダに保存します。
※ 詳しくはP54を参照ください。

| メモリ自動管理機能

microSDカードの保存容量が足りない場合、継続的に走行映像を記録するため、各フォルダ別の古い映像ファイルから順次削除します。
※ 詳しくはP56・57を参照ください。

| 専用ビューアー対応

ドライブレコーダーの映像を専用ビューアーで再生すると、前方・後方の映像を同時に再生しながら、各情報を簡単に確認することができます。
※ 詳しくはP41～53を参照ください。

| バッテリー上がり防止機能(電圧遮断機能)搭載

車両のバッテリー上がりを防止するためドライブレコーダーの電源を遮断します。設定された遮断電圧 / 遮断時間により駐車監視モード中に自動的にドライブレコーダーの電源がOFFになり、ドライブレコーダーによるバッテリー上がりを防止します。
※ 詳しくはP35を参照ください。

- ・ 駐車監視モードは車両バッテリーの電力を使用します。
- ・ バッテリーに関する警告が出た場合、車両のバッテリーが弱っている可能性があります。

| 電波干渉対策済

- ・ 後方カメラを取付した場合、一部地域、一部モデル / 仕様、受信環境により、ラジオの受信感度が下がる場合があります。

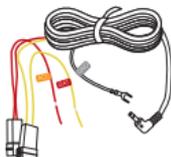
| LED信号対策済

製品購入後、本体及び付属品が全て揃っていることを確認してください。
万が一、本体及び付属品に破損または異常がある場合は、直ちに本製品を購入した販売店にご相談ください。

基本構成



本体、
ブラケット



電源ケーブル



SmartReco専用
microSDカード
16GB



microSDカード
リーダー



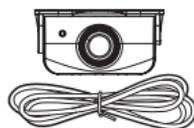
六角レンチ
両面テープ(2枚)



結束バンド(10本)
クッションテープ
(1枚)

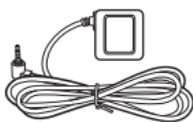


取扱説明書



後方カメラ・
接続ケーブル

オプション (別売)



GPSモジュール

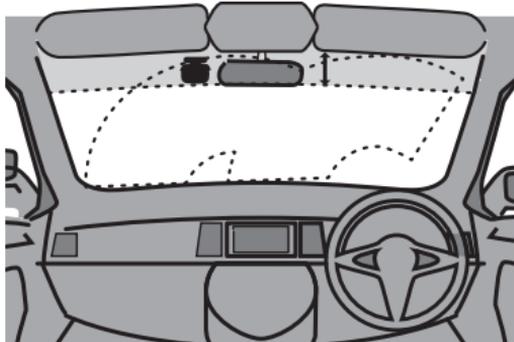


シガー電源
ケーブル

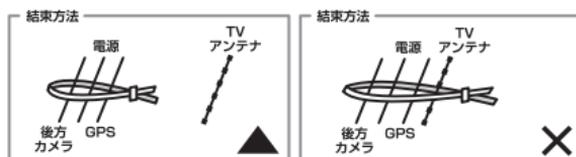
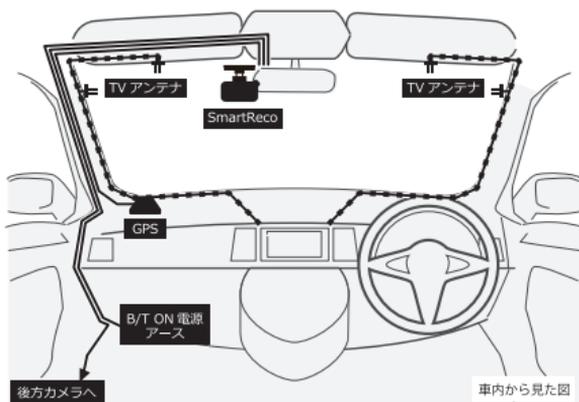
上記付属品は予告なく変更される場合があります。
(上りはイメージ画像ですので、実物と異なる場合があります。)

- 本製品を取り付ける際には、本体及び付属品が全て揃っていることを確認し、取り付け方法を確認した上で、所定の手順に従って取り付けてください。取り付けに分解整備を伴う場合や車両ハーネスから直接電源を供給する場合は必ず自動車整備認証工場または指定工場で行ってください。
- 取り付け作業は、できる限り水平な場所で、必ずバッテリーのマイナス端子を外した状態で行ってください。
- SRS(エアバッグ)等、車両の安全装置や、その他の装置に影響が出る場所に絶対に設置しないでください。
- ガラスの塗装部分及び遮光フィルム・熱線などは避けて取り付けてください。脱着時に塗装部分及び熱線が剥がれる恐れがあります。
- 本製品を取り付けたフロントガラスは常にきれいにしてください。
- 設置場所の明るさや、ガラスの反射等により、映像品質が落ちる場合があります。取り付け後に撮影テストを行い、映像品質に問題が出ない場所に設置してください。
- 本製品は、運転者の視界の妨げにならない位置に取り付けてください。
※ ルームミラー裏側に設置することをお勧めします。「審査事務規定 第5章 5-47」により、フロントガラス上縁からガラス実長の20%以内の範囲にカメラを貼り付けることで車検に適合します。(平成26年11月現在)
- ワイパーの拭き取り位置を確認して取り付けてください。

【 microSDカード使用時の注意事項 】



- フロントガラス全体の上部20%以内もしくは下から15センチ以内に装着します。
- 製品本体や後方カメラ・GPSモジュールは他の電波を利用した製品に影響がない場所へ取り付けてください。電波を利用した製品の例：GPS・ETC・VICS・レーダー探知機・テレビ・ラジオ・電話等。装着場合によっては同時装着が出来ない場合もありますのでご注意ください。また、GPSは微弱な電波を受信しており、電波を遮る障害物にも影響を受けます。状況に応じて、GPSアンテナの設置場所を選択してください。
- 本製品のGPSモジュールはカーナビゲーションのGPSアンテナ（フィルムアンテナ含む）と50cm以上距離を離して取り付けてください。電波障害によりカーナビゲーションが正しく表示されない場合があります。電波障害が起きた場合は、本製品のGPSモジュールの取り付け位置を調整し、本製品の電源ケーブルを電源端子から取り外し、再度接続してください。
- 電波障害により、テレビが受信できなくなる場合があります。この場合、テレビの使用を中止してください。



- 図の様にフロントガラスにTVアンテナが取り付けられている車輛に本製品を使用する場合、テレビの電波干渉が起きる可能性があります。走行中は、テレビを見ないでください。
- 図の様に本製品の配線とTVアンテナ線はできる限り離して取り付けてください。
- 本製品とテレビ・ラジオを同時使用して発生した電波障害は、保証の対象になりません。
- 本製品の配線は、TVアンテナの配線から可能な限り離してください。

1



本体を装着する位置のフロントガラス、後方カメラを装着する位置のリアガラスの脱脂作業を行います。

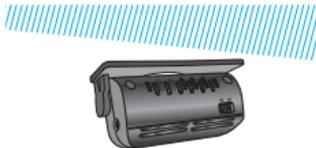
2



ブラケットの両面テープのフィルムを除去した後
運転者の視界に妨げにならない位置に、空気を抜きながら取り付けます。

※ サンバイザーやSRS（エアバッグ等）に影響の無い場所を選んでください。

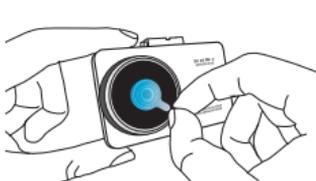
3



後方カメラも同様の方法で両面テープのフィルムを除去した後、
リアガラスに接着してください。

※ リアサンシェード装着車は干渉しない場所に設置してください。

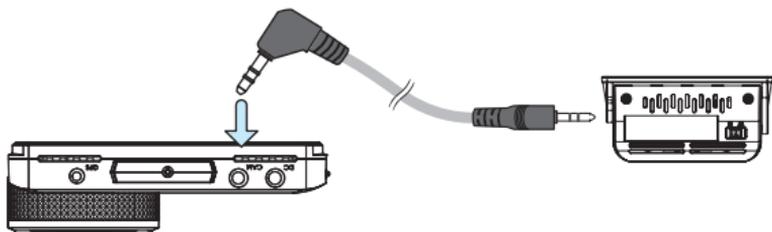
4



本体、後方カメラのレンズ保護フィルムをレンズ面に触れないよう丁寧に外してください。

※ レンズ保護フィルムを除去しなかった場合、録画画質が低下します。

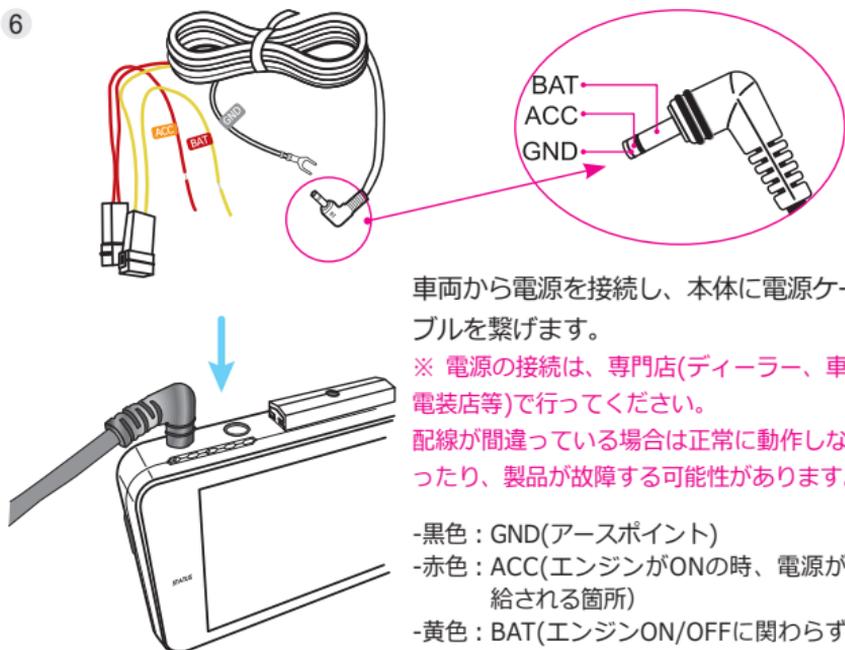
5



後方カメラにケーブルを繋げ、本体には電源ケーブルを繋げていない状態で後方カメラケーブルとGPSモジュール(※オプション)を接続します。

※ 後方カメラとGPSモジュールは必ず電源を切った状態で連結してください。本体が故障する恐れがあります。

6



車両から電源を接続し、本体に電源ケーブルを繋げます。

※ 電源の接続は、専門店(ディーラー、車両電装店等)で行ってください。

配線が間違っている場合は正常に動作しなかったり、製品が故障する可能性があります。

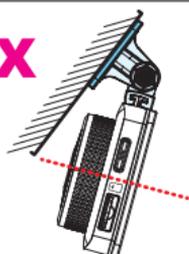
- 黒色：GND(アースポイント)
- 赤色：ACC(エンジンがONの時、電源が供給される箇所)
- 黄色：BAT(エンジンON/OFFに関わらず、常に電源が供給される箇所)

7



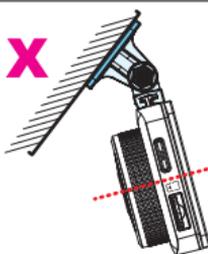
常時録画開始を確認し、タッチパネル画面を見ながら撮影角度を調節し六角レンチでブラケットの固定ねじを締めてください。ねじの締めすぎにご注意ください。

X



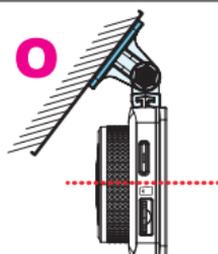
上向きすぎ

X



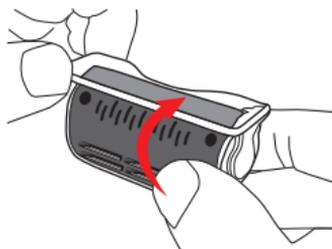
下向きすぎ

O



ポンネットと前方が適切に見えるように設置

8



後方カメラのカメラ部分を上下に回して適切な位置で角度を調節してください。

9

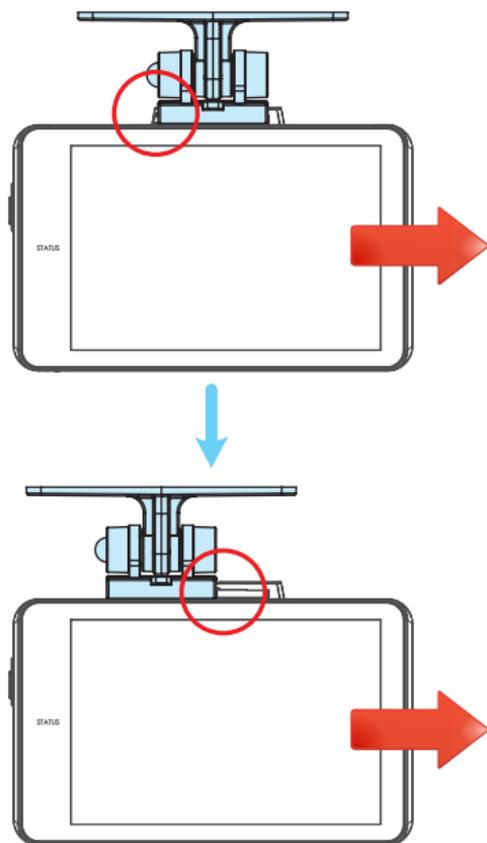


装着完了後、前後共プレビュー画面を確認してください。

※ 映像確認方法

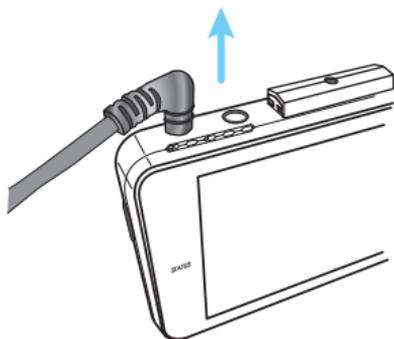
- 1)画面タッチ後、映像リストメニューで録画された映像を確認することができます。
- 2)microSDカードをコンピューターに接続し専用ビューアーで映像の確認ができます。

本体に接続されているケーブルを全て本体から外し
タッチパネル面から見て、本体ステー根元の左端を押しながら右側へ本体を
スライドしてください。

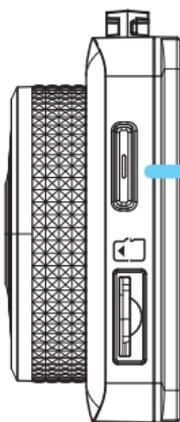


※ 無理に外そうした場合、本体・ステーが破損する恐れがあります。

本体電源をOFFにする方法



本体から電源ケーブルを抜いてください。



もしくは、常時録画中にスイッチを長押し(5秒)し画面右上 駐車監視の表示が [P-OFF] になったのを確認後、エンジンをOFFしてください。



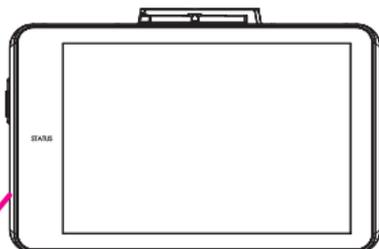
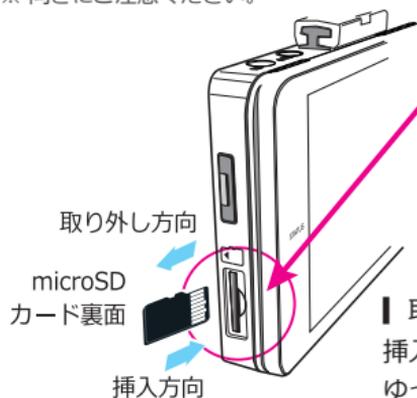
※ 駐車監視モードを使用する場合は上記と同じスイッチを長押し(5秒)しP-ONになったのを確認してください。

※ 必ず本体電源をOFFにしてから行ってください。

挿入方法

microSDカードを矢印の方向でカチッと音がするまで挿入してください。

※ 向きにご注意ください。



取り外し方法

挿入されたmicroSDカードを一旦奥に押しゆっくり手を放してください。

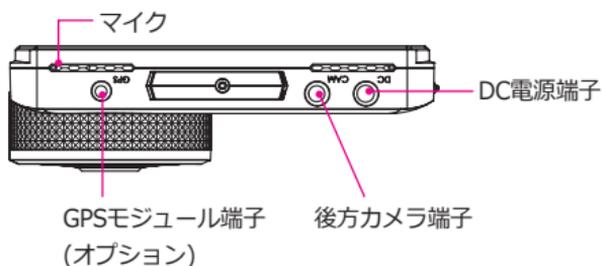
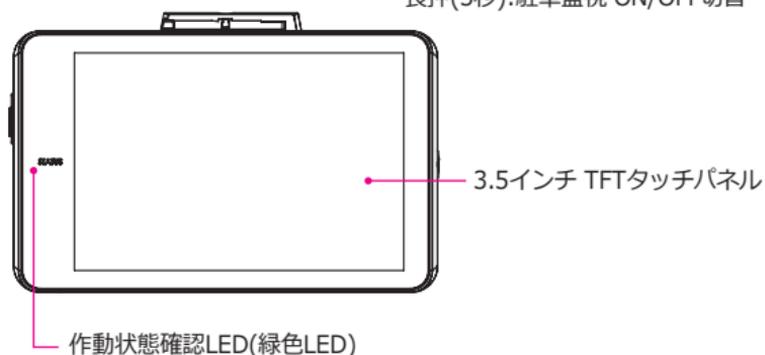
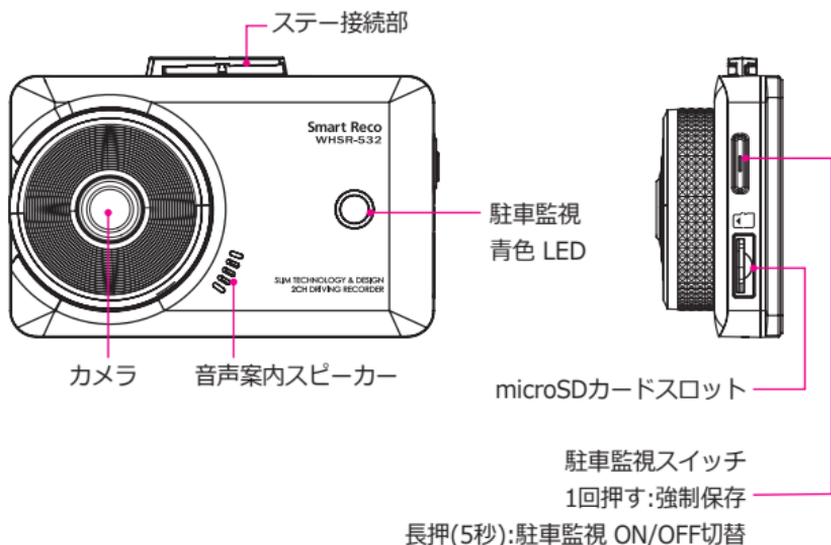


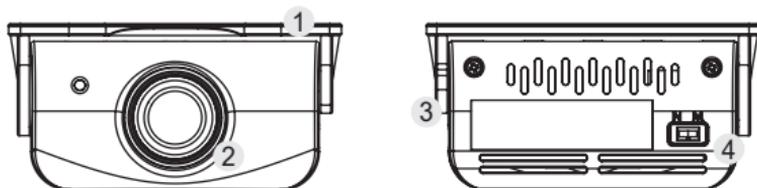
注意 『損傷または物的損害が発生する恐れがある』内容です。

※ microSDカードを無理に挿入した場合、本体とmicroSDカードの損傷が起こる可能性があります。損傷が発生した問題に対して一切の責任を負いません。

メモリーカード使用の際の注意事項

- ・メモリーカードは寿命がある消耗品ですので、6ヶ月を超えた場合正常に録画がされない場合があります。
製品寿命を超過したメモリーカードは交換してください。
- ・製品の正常作動を確認するため、週1回以上データの確認を行ってください。
- ・メモリーカードは純正品をご使用ください。純正のメモリーカード以外のカードを使い起こった問題などに関して一切の責任を負いません。
- ・本体の電源がOFFの時にメモリーカードの取り外しを行ってください。録画時に抜き差しを行うとメモリーカード及び本体が破損する恐れがあります。
- ・重要な録画映像データはメモリーカード以外の別途保存装置にバックアップすることでデータの紛失を未然に防止することができます。





名称	説明
① 接着面	リアガラスと後方カメラの接着面
② カメラレンズ	後方カメラレンズ
③ 接続端子	本体とケーブルで接続します。
④ 画面反転スイッチ	録画映像の反転を切り替えます。 (N : 正像 / M : 鏡像)

操作	状況	動作	音声案内	LED 表示
モード 切替	駐車モード → (ACC ON)	常時録画モード動作	“常時録画 モードに 切り替わります”	-
	常時モード → (ACC OFF)	駐車監視モード動作	“駐車監視 モードに 切り替わります”	-
駐車監視 スイッチ	1回押す	強制イベント 録画	ブザー音1回	緑色 LED 1秒に2回 点滅
	長押し (5秒以上)	駐車モード ON/OFF切替	ブザー音1回	-
常時録画 モード (ACC ON)	常時録画	1分単位で連続 録画	-	緑色 LED 点灯
	メニュー画面 表示時	録画中止	“録画を 中止します”	青色 LED 点灯
	衝撃発生時	衝撃感知 前5秒・後15秒 (合計20秒) の映 像保存	ブザー音2回	緑色 LED 1秒に2回 点滅
	GPS信号受信時	映像下段に‘G’ と表示 速度測定及び運行 記録保存開始	“GPS信号を受信 しました”	-
	高温遮断動作時 /高温遮断状態 から タッチパ ネルタッチ時	タッチパネル 強制終了状態	“高温状態のため、液晶タッチ パネルをOFFに しました”	-

操作	状況	動作	音声案内	LED 表示
駐車監視 モード (ACC OFF)	モーション感知時	感知前の5秒 後15秒(合計20秒) の映像を保存	-	青色 LED 1秒 に4回 点滅
	衝撃感知時	衝撃を感知した時 点から20秒間の映 像を保存	ブザー音2回	青色 LED 1秒 に4回 点滅
	遮断電圧、遮断 時間、高温によ る終了時	遮断された記録を SDカードに残して 終了	ブザー音1回	-
その他	ファームウェア アップデート	アップデート後再 起動	“アップデート を開始します”	青色/緑色 LED点滅
	•SDカードが挿 入されていない 場合 •SDカードに異 常があった場合	音声案内後 再起動	“microSDカー ドを確認してく ださい”	-

※ 駐車 / 常時に切り替え時、ドライブレコーダーの再起動が終わるまでは映像は録画されません。

※ 音量及び駐車モードLED設定値により音声案内及びLED表示が動作しない場合があります。

音声案内	状況
“常時録画モードに切り替わります”	- 駐車監視モード⇒常時録画モード
“駐車監視モードに切り替わります”	- 常時録画モード⇒駐車監視モード
“GPS信号を受信しました”	- 常時録画モードでGPS信号を受信したとき (1回のみ案内)
“駐車監視中に衝撃を感知しました”	- 駐車中イベントファイルが作成された場合に常時録画モードに切り替わるとき
“microSDカードを確認してください”	- microSDカードが確認できない場合。 - microSDカードが挿入されていないか、認識不良になっている状況
“フォーマットを開始します”	-microSDカードのフォーマット開始
“高温動作状態のため、液晶タッチパネルをOFFにしました”	- 駐車監視モード時に高温状態になり常時録画モードに切り替えたとき - 常時録画モードで、高温状態によりOFFになった液晶タッチパネルをタッチしたとき
“録画を中止します”	- メニューでファイル再生、システム状態確認、設定を行う場合に録画を停止したとき
“アップデートを開始します”	- microSDカードにファームウェアのアップデートファイルを入れて起動した場合



P-ON : 駐車監視録画 使用
P-OFF : 駐車監視録画 使用しない

REC
REC : 常時録画 / EVT : イベント録画

[SmartReco1.0] ファームウェアのバージョン

2018-07-01 09:31:00 常時録画時刻

M 音声録音使用有無(OFF時“M”表示)

G GPS受信状態表示(ON時“G”表示)

- 常時録画モードで起動が完了すると常時録画面が表示されます。
- 常時録画面でファームウェアのバージョン、常時録画時間、音声録音使用有無、GPS受信確認、録画時間（REC、EVT）、駐車監視モードの使用有無が確認できます。
- 常時録画面で1分間タッチしないと、スクリーンセーバーに切り替わります。スクリーンセーバー状態で1分間タッチしないとタッチパネルがOFFされます。（録画は停止されません。）

※ スクリーンセーバーは“1分 / 2分 / 3分”から選択する事ができます。

※ 安全のため、常時録画面を常に表示させることはできません。

※ タッチパネルの明るさは自動調整されます。

本体温度が80℃以上の高温状態になった場合、本体保護のため自動的にタッチパネルがOFFになりますが、録画は継続します。

本体温度が下がり、70℃以下の状態が1分間持続すると自動的にタッチパネル表示が復帰します。

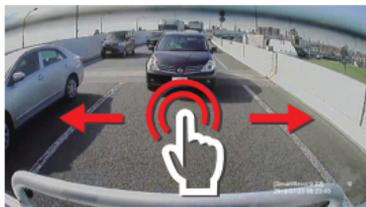
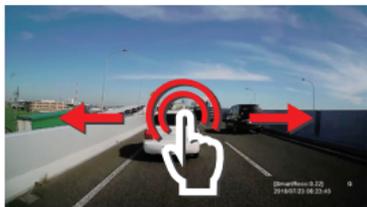
高温状態時にタッチパネルを触った場合、音声案内が流れます。

“高温動作状態のため、液晶タッチパネルをOFFにしました。”

PinP表示OFFの場合 ※常時録画中のみの操作になります。

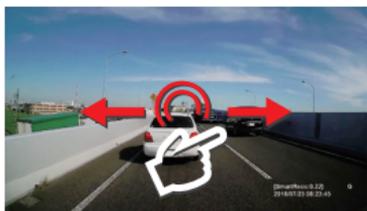
前方・後方表示入れ替え

常時録画面中にタッチパネルを左右にスワイプすることで前方・後方の表示を入れ替えることができます。



拡大表示

ピンチイン・ピンチアウトの操作を行うことで、前方画面の表示を拡大できます。最大4.0倍まで拡大できます。



ピンチアウトで拡大表示(最大4倍まで)



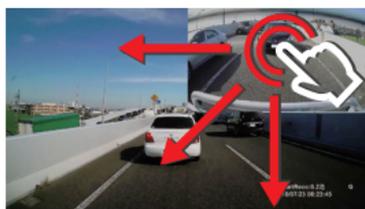
ピンチインで縮小(最小：等倍)

1. 後方画面は拡大表示できません。
2. 録画されている映像は、拡大表示の影響を受けません。
3. ズームインの状態では、元の倍率（等倍）になるまで左側に拡大率が表示されます。
4. エンジンを切って常時録画を終了すると、元の倍率に戻ります。

PinP表示ONの場合

PinP表示

PinP画面をドラッグして目的の場所に移動し、リアルタイムの映像を確認することができます。ただし、PinP画面の位置は、常時録画モードが起動するたびに右上（デフォルト）に戻ります。



PinP画面以外をタッチするとメニューが表示されます。





[スクリーンセーバー]

常時録画画面から1分間タッチしないとスクリーンセーバーに切り替わり、スクリーンセーバー状態から1分間タッチしないとタッチパネルがOFFになります。

※ スクリーンセーバーは"1分/ 2分/ 3分"から選択する事ができます。

- 時刻や日付を確認する事ができます。
- GPS受信状態を確認できます。
GPS受信時 : GPS ON
GPS未受信時、未接続時 : GPS OFF
- GPS受信時、走行中の速度を確認する事ができます。



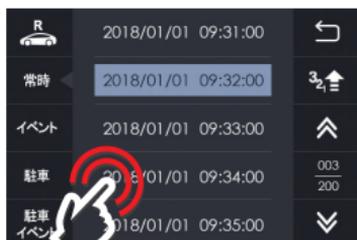
[メニュー画面]

- 常時録画モード中に常時録画画面からタッチパネルをタッチすると、メニュー画面が表示されます。
- メニュー画面には、前方画面(後方画面)、強制保存、ファイル再生、タッチパネルOFF、システム状態、設定の6つのアイコンが表示されます。
- メニュー画面状態に移っても録画は停止されません。

アイコン	説明
	前方 / 後方画面 常時録画画面を前方もしくは後方に切り替えます。
	強制保存 常時録画中、[強制保存]アイコンをタッチすると強制的にその時から前5秒、後15秒の20秒間のファイルをEventフォルダに記録します。
	ファイル再生 ファイル再生画面へ移動します。microSDカードに保存されているファイルを再生します。
	タッチパネルOFF 液晶タッチパネルをON / OFFします。OFFになった液晶タッチパネルをタッチすると前方画面が表示されます。
	システム状態 ファームウェアバージョン、microSDカード使用量等、ドライブレコーダーの情報が確認できます。
	設定 ドライブレコーダー設定を変更する事ができます。



ファイル再生



ファイル再生リスト

- ファイル再生リストに、記録された日時のファイルが並びます。ファイル名をタッチすると再生画面に移行し、ファイル再生を行います。
- ファイル再生リストは上下にフリックすることでページを移動することができます。
- 2分間タッチ操作を行わない場合、常時録画に切り替わります。



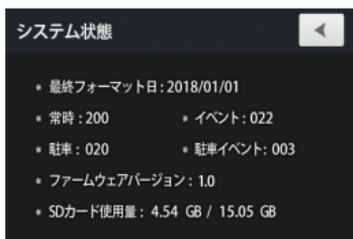
再生画面

アイコン	説明	アイコン	説明
	再生/一時停止		前/次のファイルに移動
	停止		ファイル再生リスト画面に戻ります。

アイコン	説明
	<p>再生映像の前方、後方を切替えます。 Fは前方、Rは後方です。</p>
	<p>ファイル再生リストを 常時、イベント、駐車(モーショ ン)、駐車イベント に切り替えます。</p>
	<p>常時録画に戻ります。</p>
	<p>ファイル再生リストを記録日時の降順、昇順に並び替えま す。</p>
	<p>ファイル再生リストの最初のページ、最後のページに移動し ます。</p>
	<p>再生リストのページ数を表示します。</p>



システム状態

[◀ \[前の画面に移動\]](#)

- 最終フォーマット日：microSDカードを最後にフォーマットした日付が表示されます。
- 保存された常時ファイル、イベントファイル、駐車(モーション)ファイル、駐車イベントファイルの個数が表示されます。
- ファームウェアバージョン：ドライブレコーダーのソフトウェアバージョンが表示されます。
- SDカード使用量：microSDカードの現在使用されている容量/使用可能な容量が表示されます。

注意 システム状態表示中は録画を停止します。

13 液晶タッチパネル - 設定



◀ [前の画面に移動]



アイコン	説明
	システム設定 センサー感度、駐車モード保存容量、駐車電源遮断の設定を行います。
	音声/画面 スクリーンセーバー設定、ナイトビジョン 設定、音量設定、音声録音使用設定を行います。
	時刻 時刻設定を行います。
	フォーマット microSDカードをフォーマットします。
	初期化 全ての設定を初期設定値に戻します。フォーマットも行います

※ GPSモジュール（オプション）が接続されGPS信号を受信すると自動的に時刻が設定されます。その場合、時間設定メニューを選択することができません。



システム設定

[前の画面に移動]

[ホーム画面]



※左記画面が初期設定値です。

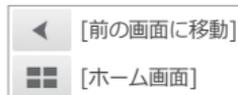
アイコン	説明
	遮断電圧 遮断電圧は“ 11.5V / 11.7V / 11.9V(初期設定) / 12.1V”から選択する事ができます。
	遮断時間 遮断時間は“使用しない / 6時間(初期設定) / 12時間 / 24時間”から選択する事ができます。
	駐車容量 microSDカード内の駐車モード保存容量を設定します。 “0%、25%(初期設定)、50%”から選択する事ができます。 駐車モード保存容量を変更するためにはフォーマットが必要となります。
	常時衝撃値 常時録画モード中に衝撃が起きた時、イベント録画するための感度を設定します。“低、中、高”から選択する事ができます。
	駐車感度 駐車監視モード中のモーション感度を設定します。 “低、中、高”から選択する事ができます。
	駐車衝撃値 駐車監視モード中に衝撃が起きた時、イベント録画するための感度を設定します。“低、中、高”から選択する事ができます。

※ 常時衝撃値は専用ビューアーから“1～10段階”に詳細に調整をする事ができます。

駐車監視モード中、本体温度が85℃以上の高温状態になった場合、製品保護のため自動的に駐車監視モードをOFFにします。本体温度が下がり、70℃以下の状態が1分間持続すると自動的に駐車監視モードが復帰します。



音声・画面設定



※ 左記画面が初期設定値です。

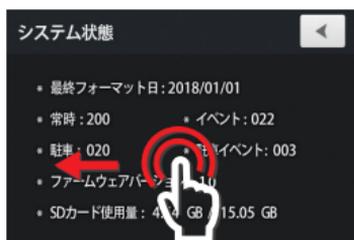
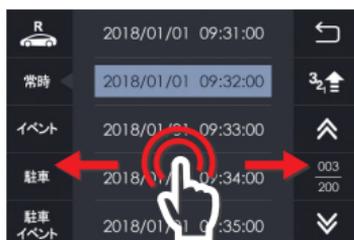
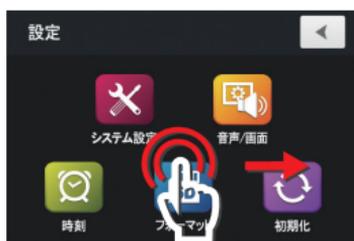
アイコン	説明
	スクリーンセーバー スクリーンセーバーの切替時間を3段階(1分 / 2分 / 3分)から選択する事ができます。
	PIP(ピクチャ イン ピクチャ)ON/OFF 使用するを選択すると、タッチパネルで前方/後方の映像を同時に確認することができます。
	ナイトビジョン 周りの環境を感知して暗い場所でも明るい映像として録画します。明るさは3段階から選択できます。
	音声録音 ON/OFF 映像と同時に音声を保存します。音声録音OFFにすると、音声は録音されず映像だけ保存します。※1
	音量 音声案内の音量を4段階(使用しない/1段階/2段階/3段階)から設定する事ができます。※2

※1 音声録音をOFFにすると常時録画面及び録画像の下に“M”と表示されます。

※2 音量を「使用しない」にすると、駐車衝撃案内の音声は出力されません。

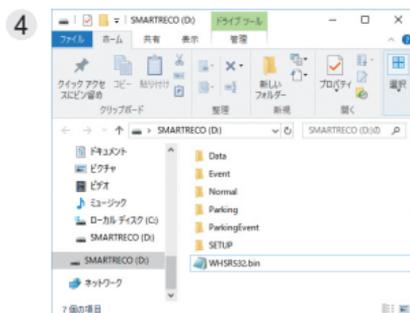
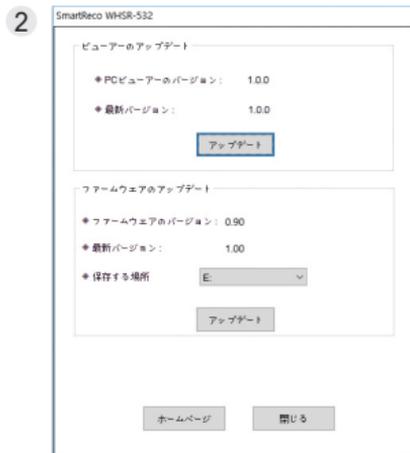
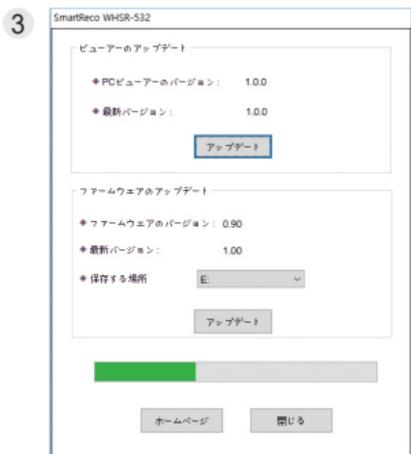
タッチパネルのフリック操作

設定メニューから左、右のスワイプ操作でメニュー間を移動できます。

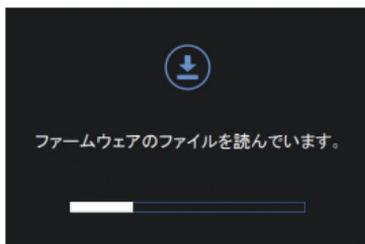


[アップデート方法(インターネットに繋がった環境が必要です)]

1. 専用ビューアーのメイン画面でプログラム情報  ボタンをクリックすると専用ビューアーとファームウェアのバージョン確認とアップデートをすることができます。(ファームウェアのバージョン情報保存されたmicroSDカードを挿入すると、①のようなファームウェア案内が表示されます)
2. microSDカードが挿入されたドライブを確認して[アップデート]ボタンをクリックしてください。ダウンロードした最新のファームウェアのファイルがmicroSDカードにダウンロードされます。
3. アップデートが完了しますとmicroSDカードにアップデートファイル(WHSR532.bin) が生成されます。



4. ドライブレコーダーの電源をOFFしてからファームウェアファイルが保存されているmicroSDカードを挿入します。
5. ドライブレコーダーの電源をONすると“アップデートを開始します”と音声案内が出てアップデートが開始されます。アップデートが完了したら自動的に再起動します。

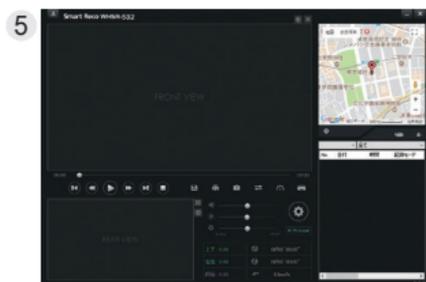
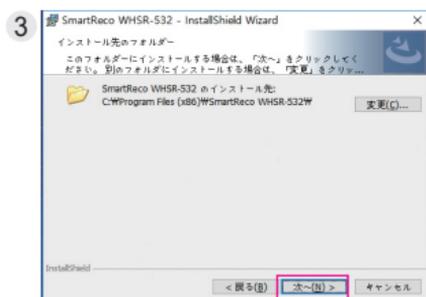
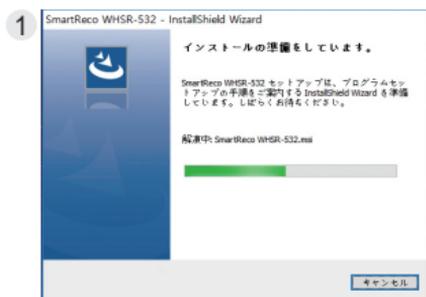


6. ドライブレコーダーが再起動したら録画を開始します。

- ※ アップデート中には、絶対に電源を切ったりmicroSDカードを抜かないでください。
- ※ アップデートの内容により、アップデート後microSDカードをフォーマットが必要な場合もあります。
- ※ アップデート中は録画を停止します。

専用ビューアーをインストールする

1. microSDカードに保存された専用ビューアー インストールファイル (SmartRecoWHSR-532.exe) を実行してから、下記の順番にそってクリックするとインストールが完了します。



[専用ビューアー作動環境]

- OS : Windows7、8、10
- CPU・メモリ : Intel Core i3以上 / 4GB RAM以上
- ウェブブラウザ : Microsoft Internet Explorer 11 以上
- ディスプレイ解像度 1366X768以上
- タブレット端末には対応しません。

※ SDカードに専用ビューアファイルが入っていない場合はスマートレコwebサイトよりダウンロードをお願いします。

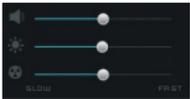
※ 表示画面は1020X730になります。
※ MacOSXには対応しておりません。

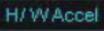
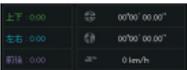


①	ビューアー/ ファームウェアのバージョン情報及び自動アップデート	
②	前方映像	③ 映像操作ボタン
④	後方映像	⑤ ズーム、全画面表示
⑥	音量、明るさ、再生速度	⑦ 運行記録再生
⑧	本体の環境設定	⑨ ハードウェアアクセラレーション ON/OFF
⑩	Gセンサー衝撃値/緯度/経度/速度	⑪ 地図 ON/OFF
⑫	ファイルを開く、並べ替え	⑬ プレイリスト

- 緯度、経度、速度、マップ情報はGPSモジュール(オプション)が正しく電波を受信していない場合は表示されません。
- 音声OFF(ミュート)で録画した映像は (M)で、GPS受信は (G)で前方映像右下に表示されます。

-  **プログラム情報**
専用ビューアーとファームウェアのバージョン確認とアップデートができます。
※ ファームウェアのバージョン情報を確認するためにはmicroSDカードをコンピューターに接続する必要があります。
-  **拡大表示**
マウスのスクロールで拡大表示ができます。
-  **全画面表示**
前後の映像を全画面表示します。
-  **メイン画面に復帰**
全画面表示中、ビューアーメイン画面に戻ります。
-  **前のファイル/ 次のファイル再生**
映像再生中、再生中の前のファイル/次のファイルを再生します。
-  **再生/一時停止**
プレイリストから選択したファイルを再生したり、再生中のファイルを一時停止します。
-  **前のフレーム/次のフレームに移動**
映像再生中、このボタンをクリックすると一時停止し、画面が1秒単位で移動します。
-  **ファイルコピー**
現在再生中の映像を前後分離し、コンピューターにコピーします。

9.  **画面プリント**
ビューアーの全画面を印刷します。
10.  **画面キャプチャ**
ビューアーの再生画面を PNGファイルで保存します。
11.  **前方後方画面切替**
ビューアーの前方画面と後方画面の表示位置を切替ます。
12.  **速度/加速度グラフ表示**
グラフ表示ボタンをクリックすると、別のウィンドウを表示します。
13.   **V(速度)/G(加速度)の切替**
速度と加速度グラフを表示します。
※ GPSモジュール(オプション)が正しく電波を受信していない場合、速度グラフは表示されません。
14.  **運行記録再生**
運行記録を表示します。
※ GPSモジュール(オプション)が正しく電波を受信していない場合は表示されません。
15.  **再生オプション**
映像の音量、明るさ、再生速度を調整することができます。
16.  **本体の環境設定**
本体の環境設定内容をmicroSDカードに保存します。 microSDカードをコンピューターに接続した後、設定することができます。

17.  **ハードウェアアクセラレーションON/OFF**
グラフィックカードのハードウェアアクセラレーションの使用可否の設定ができます。ハードウェアアクセラレーションに対応していないコンピュータでは、OFFの状態でも滑らかな映像再生が可能です。(基本設定：ON)
18.  **衝撃値、位置情報**
衝撃値、緯度・経度、速度を表示します。GPSモジュール（オプション）が正しく電波を受信していない場合は表示されません。
19.   **マップ表示 / 非表示**
再生中の映像の運行位置情報をマップ上で表示します。GPSモジュール(オプション)が正しく電波を受信していない場合は表示されません。
20.  **ファイルを開く**
映像ファイルを選択します。ShiftキーまたはCtrlキーを押した状態で、カーソルで指定したファイルをクリックすると複数のファイルを同時に選択することができます。
21.   **昇順/降順の切替**
プレイリストのファイルの並び方を切り替えることができます



前・後画面の
[全画面切替]ボタン



アイコン	説明
	<p>メイン画面に復帰 全画面表示中、ビューアーメイン画面に戻ります。</p>
	<p>ビューアー終了 ビューアーを終了します。</p>
	<p>画面キャプチャ ビューアーの再生画面を画像に保存します。</p>
	<p>前方後方画面切替 前方画面と後方画面の表示位置を切り替えます。 プレイリストSDカードの映像リストを表示します。</p>
	<p>プレイリスト SDカードの映像リストを表示します。</p>



[メイン画面から前方映像の拡大]

- | 再生中の前方または後方映像をクリックしたり、拡大表示ボタンをクリックした後、マウスのスクロールを使い映像の拡大、縮小ができます。
- | 拡大した状態で画面をドラッグし位置移動をすることができます。

- 運行記録は走行時10秒ごとに記録し、microSDカードのDATAフォルダの中にDATファイル形式で保存されます。1つのファイルには最大1週間の運行記録が保存され、日付順に運行記録リストが表示されます。(但し、GPSモジュール(オプション)が正しく電波を受信している場合に限りです。)



1. microSDカードをコンピューターに接続した後、ビューアーで  ボタンをクリックすると運行記録モード（上側の図）が表示されます。
2. 左図のファイルを開く  ボタンをクリックすると、microSDカード内のDataフォルダにある .DATファイルをリストで見ることができ、ファイルを選択すると、日付別に運行記録のリストを見ることができます。
3. リストから目的のファイルをクリックすると、右側に移動経路が表示されます。

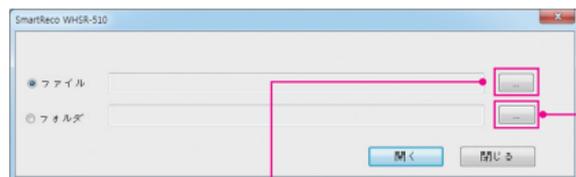
※ DAT ファイルは最大5個(5週間分)まで保存できます。

■ 下記の表は運行記録ウィンドウのアイコンの説明です。

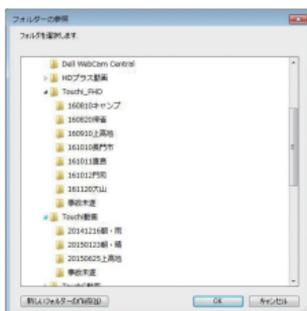
アイコン	説明
	microSDカードのDATAフォルダの中の運行記録ファイル(.dat)を開きます。
	運行記録の画面をキャプチャしてbmpファイルとして保存します。(保存先: C:¥BlackBox¥CAPTURE)
	運行記録の画面を印刷します。
	移動経路の再生中に走行日と時刻を表示します。
	リストから選択した項目を移動経路順に再生します。
	移動経路再生中、移動した経路にマーカを表示します。
	移動経路再生を 1/2、1、2、4 倍速で再生します。
	運行記録ウィンドウを終了します。

ビューアーではmicroSDカードやコンピューターに保存されたドライブレコーダーの映像を選択し、再生することができます。

1. ビューアーのメイン画面で ボタンをクリックします。
2. 任意のファイル/フォルダ方式を選択し、読み込みするファイル/フォルダの選択後「開く」ボタンをクリックします。
3. 選択された映像がプレイリストに表示されます。

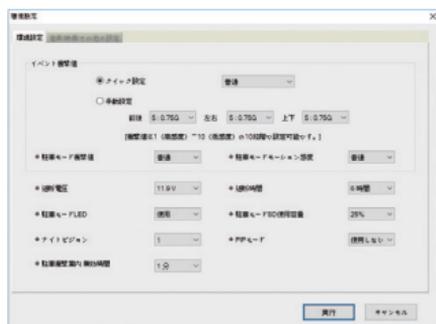


[ファイルの選択ウィンドウ]



[フォルダの選択ウィンドウ]

- 環境設定：ビューアーで  ボタンをクリックすると、下記のようにドライブレコーダーの環境設定ウィンドウが開きます。



1. 常時・駐車モード衝撃値：ドライブレコーダーが衝撃を検知する感度を3段階（低感度、普通、高感度）から選択することができます。
※ 常時衝撃値は“手動設定”メニューから1～10段階で細かく調整することができます。
2. 駐車モードモーション感度：駐車監視モードでモーションとして認識する感度を3段階（低感度、普通、高感度）選択することができます。
3. 遮断電圧・遮断時間：駐車監視モード中バッテリーの放電を防ぐため、ドライブレコーダーが自動的に終了する条件を設定することができます。電圧4段階(11.5V、11.7V、11.9V、12.1V)、時間4段階(使用しない、6時間、12時間、24時間)設定できます。
4. 駐車モードLED：駐車監視モード状態でセキュリティー青色LEDのON、OFF設定をします。(前方のみ)
5. 駐車モード割当量：SDカードの全体容量の中で駐車監視モードの録画割当量を3段階(0%、25%、50%)設定できます。但し、“0%”に設定した場合、車のエンジンを切ると本体の電源をOFFします。駐車監視機能を使用できなくなります

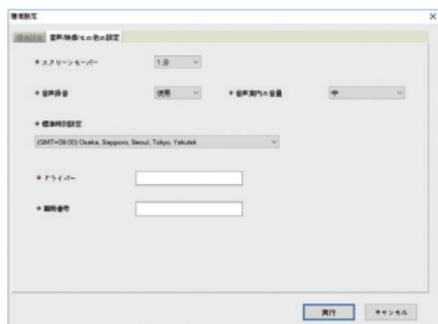
6. ナイトビジョン：周りの環境を感知し、暗い環境にいても、実際より明るい映像で録画されます。明るさは3段階調節できます。0、1、2の順に明るさが強くなります。

※ 駐車監視モードの使用可否の変更を行う場合、microSDカードのフォーマットが必要です。

7. PIPモード：PinP（ピクチャインピクチャ）機能を使用するか選択できます。使用する場合、前方画面と後方画面を同時に表示します。

8. 駐車衝撃案内 無効時間：駐車イベント録画のお知らせは、エンジンOFF後/エンジンON前の設定時間以外で起きた場合にお知らせします。（録画は行われます）1分、3分、5分から選択できます。

- 音声/映像/その他の設定：「音声/映像/その他の設定」タブをクリックすると、下記のようにドライブレコーダーの環境設定ウィンドウが開きます。



1. スクリーンセーバー：1分、2分、3分 から選択できます。
2. 音声案内の音量：音量を4段階(使用しない、小、中、大)から選択できます。
3. 音声録画：本製品は映像と同時に音声も保存します。音声録音OFFに設定すると音声は録音されず、映像だけ保存します。
4. 標準時刻設定は '(GMT +09:00) Osaka … Seoul …'を選択してください。
5. ドライバー及び車両番号：登録すると運行記録内でドライバー及び車両番号の確認ができます。

- Normal フォルダ：常時モードでの1分単位の映像を連続し保存します。
- Event フォルダ：常時モード中発生したイベント(強制保存、衝撃) 発生5秒前、15秒後(合計20秒)の映像を保存します。
- Parking フォルダ：駐車監視モードでモーション感知をして録画された映像を保存します。モーション感知前5秒、後15秒(合計20秒)映像を保存します。
- ParkingEvent フォルダ：衝撃を感知した場合20秒の映像を保存します。
- Setup フォルダ：ドライブレコーダーの環境設定、電源遮断記録(cutoff.txt)が保存されるフォルダです。
- Data フォルダ：運行記録データを保存します。

映像ファイル名の例

MDR_180701_093100.avi

映像種類 年/月/日 時/分/秒

映像種類

M: 常時録画映像

E: 常時イベント映像

P: 駐車モーション感知映像

A: 駐車監視イベント映像

電源遮断記録は 駐車監視モードが遮断された日時をテキストファイルで記録します。

- 例)
- 2018/7/1 9:31: 00 CUTOFF_METHOD_TIME、TIME_06H
 - 駐車監視モードの設定時間(6時間)を過ぎたため、停止。
 - 2018/7/1 9:31: 00 CUTOFF_METHOD_V、11.90V
 - 電圧が遮断設定値まで下がったため、停止。
 - 2018/7/1 9:31: 00 CUTOFF_METHOD_T、85T
 - 本体温度が85℃に達したため、停止。

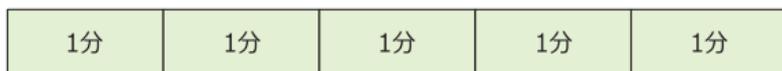
- <注意>
1. Setup フォルダを除いた他のフォルダの内容を変更(ファイル削除、生成など)した場合本体からフォーマットをお勧めする案内メッセージが出ます。フォーマット後正常に動きます。(映像ファイルをコンピューターや他の保存装置へコピーをするのは問題ありません。)
 2. コンピューターからメモリーカードをフォーマットした場合、本体でもう一度フォーマットした後、再起動します。

 常時ファイル

 常時イベントファイル

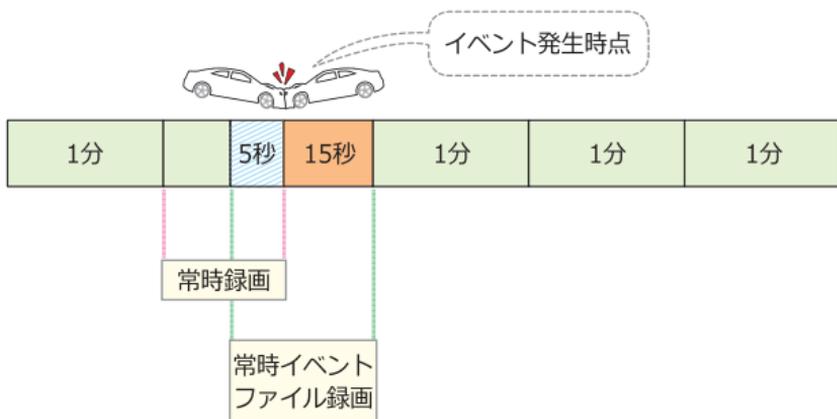
常時録画ファイル

- 1分単位で映像を連続保存します。



常時イベントファイル

- 走行モード中発生したイベント(強制保存、衝撃)発生5秒前、15秒後(合計20秒)の映像を保存します。
- 常時ファイルはイベントが発生する前まで録画され、以降の映像はイベントファイルで保存されます。



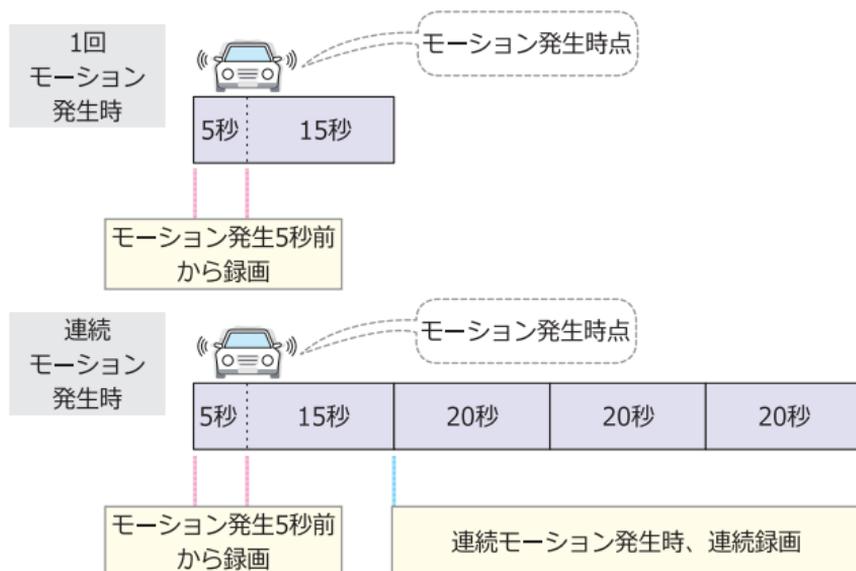
※ イベント発生時、常時ファイルとイベントファイルの映像が重なる時点(イベント発生以前の5秒間)は常時ファイル、イベントファイル両方で保存されます。

 駐車ファイル

 駐車イベントファイル

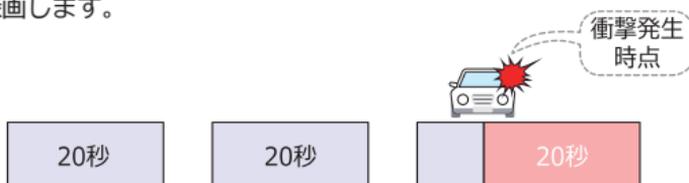
■ 駐車モーショファイル

- 駐車モード中モーションが発生した場合、モーション発生前 5秒、後15秒（合計20秒）の映像を保存します。
- 連続モーションが発生した場合、次回の駐車モーショファイルは 5秒前の映像無しで、映像が続けて録画されます。



■ 駐車衝撃ファイル

- 駐車録画中衝撃が発生した場合、衝撃発生時点から20秒の映像を衝撃ファイルで録画します。



- microSDカードの全体の容量からNormalフォルダ、Eventフォルダ、Parkingフォルダ、Parking Eventフォルダが各タイプ別に設定された容量で割当てられて保存します。microSDカードの容量によりファイルの数は異なります。

駐車使用量 25% 設定時

SD 容量	走行 (68%)		走行イベント (5%)		駐車 (22%)		駐車イベント (3%)	
	ファイル数	最大録 画時間 (分)	ファイル数	最大録 画時間 (分)	ファイル数	最大録 画時間 (分)	ファイル数	最大録 画時間 (分)
16GB	128	128	27	9	119	39	16	5
32GB	258	258	54	18	238	79	32	10
64GB	517	517	108	36	477	161	65	21

駐車使用量 50% 設定時

SD 容量	走行 (45%)		走行イベント (5%)		駐車 (43%)		駐車イベント (5%)	
	ファイル数	最大録 画時間 (分)	ファイル数	最大録 画時間 (分)	ファイル数	最大録 画時間 (分)	ファイル数	最大録 画時間 (分)
16GB	85	85	27	9	232	77	27	9
32GB	170	170	54	18	466	155	54	18
64GB	342	342	108	36	934	311	108	36

※ 残りの2%は、運行記録保存及び動作安定性のために使用されます。

駐車使用量 0% 設定時

SD 容量	走行 (89%)		走行イベント (7%)		駐車 (0%)		駐車イベント (0%)	
	ファイル数	最大録 画時間 (分)	ファイル数	最大録 画時間 (分)	ファイル数	最大録 画時間 (分)	ファイル数	最大録 画時間 (分)
16GB	168	168	37	12	0	0	0	0
32GB	338	338	75	25	0	0	0	0
64GB	676	676	152	51	0	0	0	0

※ 残りの4%は、運行記録保存及び動作安定性のために使用されます。

<注意>

1. フォルダ別保存ファイル数を超えると、古いファイルから削除し、新たな録画ファイルを生成します。
2. モード別ファイルサイズ(1CH、2CH同様)
常時ファイル (80MB、1分)、イベントファイル(28MB、20秒)
駐車モーション/駐車イベントファイル(28MB、20秒)
3. 安定的にフォーマットフリーシステムを運用するため、一部の領域がシステムに割り当てられます。

製品名	WHSR-532
消費電力	(GPS接続時) 前方カメラのみ: Max 2.6W 後方カメラ接続時: Max 3.3W
前方カメラ	1280×720 [画角]: 124度〔対角〕/99度〔水平〕/53度〔垂直〕 ナイトビジョン、WDR搭載
後方カメラ	1280×720 [画角]: 124度〔対角〕/99度〔水平〕/53度〔垂直〕 ケーブル長さ: 7m
映像フレーム	前・後方 27.5 fps
オーディオ	[マイク]内蔵マイク、PCM保存[スピーカー]音声案内
ビデオ	H.264(ファイル拡張子: avi)
Gセンサー	3軸加速度センサー
タッチパネル	3.5インチ TFTタッチパネル、480x320ドット
セキュリティLED	本体 青色 LED ON/OFF 可
動作状態LED	常時録画モード動作時 緑色 LED ON / 駐車監視録画モード 動作時 OFF
GPS	外付GPSモジュール (みちびき対応)
動作電圧	DC 12V / 24V
録画方式	常時録画 / イベント録画 / 強制録画 / 駐車モーション録画 / 駐車イベント録画
保存媒体	純正 micro SD Card Class10 (最大 64GB まで)
外形寸法	本体: 95.0×62.6×27.3mm / 後方カメラ: 56×28.2×30.2mm
重量	93.5g (microSDカード 含む)
動作温度	-20℃ ~ 70℃
耐冷耐熱温度	-40℃ ~ 85℃
電源遮断機能	駐車監視録画モードで設定値 (時間・電圧) により遮断 時間設定: 6時間/12時間/24時間/使用しない (初期設定: 6時間) 電圧: 11.5V/11.7V/11.9V/12.1V (初期設定: 11.9V)
ビューアー対応OS	Windows 7、8、10

※ 本製品並びに製品仕様は品質向上のために予告なしに変更または修正される場合があります。

Q 本体が再起動を繰り返します。／ 青色のLEDが点灯したまま消えません。

A microSDカードに異常があると再起動を繰り返したり、フリーズする恐れがあります。コンピューターでmicroSDカードをフォーマットしてください。フォーマット後も症状が改善しない場合はmicroSDカードの寿命が考えられます。microSDカードの買い替えを検討してください。※フォーマットを行う前にはお車に身に覚えのない傷や凹みが無いかをご確認ください。傷があった場合はフォーマットせず、専用ビューアーを使用して駐車録画映像をご確認ください。駐車中にいたずらや当逃げに合った可能性があります。

Q 本体のランプがつかなくなりました。

A 本体電源ジャックを抜き差しし、電源を1度OFFしてください。症状が改善できない場合、microSDカードを抜いた状態でエンジンをONしてください。カード未挿入警告が出ない場合電源配線の異常が考えられます。取付店にご相談ください。カード未挿入警告が出た場合microSDカードの異常が考えられます。コンピューターでmicroSDカードをフォーマットしてください。フォーマット後も症状が改善しない場合は、microSDカードの異常が考えます。販売店もしくはスマートレコインフォメーションセンターにご相談ください。

Q ビューアープログラムが消えてしまいました。

A 下記のダウンロードページよりダウンロードする事ができます。

ダウンロードページ

URL:<https://www.whitehouse.co.jp/smartreco/download/>

ダウンロードパスワード：**smareco**

- Q** ビューアーをインストールしましたが、起動しません。
- A** コンピューターの仕様などを確認する必要があります。弊社のホームページに詳しい対処方法が掲載されています。
下記のページをご確認ください。
<https://www.whitehouse.co.jp/smartreco/faq>
- Q** イベントファイルは上書きされませんか？
- A** イベントファイルも保存できる最大容量が決まっています。その容量を超えると一番古いファイルから上書きされます。
- Q** 駐車監視モードが作動しない(エンジン停止時に駐車監視モードに切り替えられない)音声案内が出る)
- A** 設定を確認ください。以下の設定の場合、駐車監視モードは作動しません。
1. 駐車監視モードスイッチが「P-OFF」になっている。
【常時録画画面で確認できます】
 2. 駐車監視モード 使用容量が 0%になっている。
【環境設定で確認できます】
- Q** 駐車監視モードが作動しない(エンジン停止後、本体前面青色LEDが点滅するが設定時間が経過する前に消えてしまう)
- A** 以下の2点をご確認ください。
1. バッテリー電圧の低下のため、電源遮断が発生した可能性があります。
Setupフォルダ内のcutoff.txtを確認ください。
お車のバッテリー電圧も確認してください。
 2. 本体温度が高温になり遮断された可能性があります。
Setupフォルダ内のcutoff.txtを確認ください。
※cutoff.txtについてはP53を参照してください。

- Q** タッチパネル画面が表示されない
- A** 画面をタッチすれば表示が復帰します。高温動作のため消灯している場合は音声案内が流れます。
- ※ 駐車監視モード中はタッチパネルは消灯します。
- Q** トラック・バス等の24V電源の車両でも使用できますか？
- A** 24V電源でも使用可能です。駐車監視モードの遮断電圧は、設定値の倍の電圧で作動します。
- 例：11.9Vで設定した場合、23.8V ($11.9 \times 2 = 23.8$)
で遮断されます。
- Q** 最大録画時間まで録画していないのに、コンピューターでMicroSDカードを表示すると容量をほとんど使用しています。
- A** フォーマットフリーシステム運用のため、容量を使用しているように表示されます。録画は問題無く行われます。
- Q** カード内のファイルを削除して本体に戻して起動したら、フォーマットをお勧めする画面が表示された。
- A** ファイル・フォルダ構成に変更があった場合、フォーマットフリーシステム運用のため本体で必ずフォーマットする必要があります。本体でフォーマットを行わないと録画ができません。

[製品保証規定]

1. 保証期間は製品を購入した日から2年間です。
2. 取扱説明書に従った正常な使用で故障した場合は、無償で修理または同等品との交換を行います。その際には、本保証書と販売店が発行した購入証明書（レシート等）が必要となります。
3. 次のような場合は保証期間内においても有償修理またはお取扱いできない場合がございます。
 - お客様の取扱い不注意による故障。
 - 本製品を不適切に使用または取扱ったことによる故障。
 - お買い上げ後の輸送や移動時の落下や損傷など。
 - 地震、落雷、風水害、火災、その他の天変地異及び交通事故等による故障及び損傷。
 - 接続している他の機器、及び不適切なカードの使用に起因して本製品に生じた故障及び損傷。
 - 弊社指定のサービス店以外での修理・改造・分解が行われた場合。
 - 消耗品（microSDカードを含む）
 - 本保証書を提示いただけない場合。購入証明書を提示いただけない場合。
 - 修理依頼事項の不具合内容が確認できない場合は基本点検料をご請求させて頂く場合がございます。
 - 本保証書は日本国内においてのみ有効です。
 - 本保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

【輸入販売元】

株式会社TCL

〒465-0024 愛知県名古屋市名東区本郷3-139

URL: <https://www.kk-tcl.co.jp/>

【インフォメーションセンター】

0561-67-5511

受付時間 10:00～18:00（弊社指定休日を除く）

URL: <https://www.smartreco.jp/>

TCLインフォメーションセンター

〒470-0153

愛知県愛知郡東郷町和合北蚊谷29-1

製品保証書

製品名	WHSR-532				
製造番号					
保証期間	購入日	年	月	日から	2年間
お客様	お名前			連絡先	
	住所				
販売店					

カーライフのあらゆるシーンを、スマートに記録。

Smart Reco

New Standard of Smart Car Life



発売元 株式会社TCL

本社 〒465-0024 名古屋市名東区本郷 3-139
スマートレコ インフォメーションセンター Tel. 0561-67-5511

www.smartreco.jp MADE IN KOREA